

社会資本総合整備計画														事後評価書				
計画の名称	山形市景観重点地区周辺におけるまちなみ環境整備																	
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）														重点配分対象の該当			
交付対象	山形市																	
計画の目標	歴史的建造物が集積する地区や観光地などについて、山形市景観重点地区としての指定を進めながら、歴史や文化、賑わいの感じられる美しく趣のあるまちなみ景観を創出し、住んでいる人の郷土への誇りと愛着を育み、また、地域資源の魅力を向上させることにより、地域活性化や交流人口の拡大を図る。																	
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		361	A	346	B	0	C	15	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		4.15	%			

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30末)		(R6末)
1	景観重点地区（山寺地区）及び周辺地区における来客数の増加			
	山寺地区の観光客入れ込み数	787700人/年	人/年	882000人/年
2	景観重点地区（蔵王温泉地区）及び周辺地区における来客数の増加			
	蔵王温泉地区の観光客入れ込み数	1181100人/年	人/年	1344000人/年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	山形市	直接	山形市	－	－	まちなみ環境整備事業（ 山寺地区）	修景施設整備（助成）、整備 方針策定	山形市	■	■	■	■	■	82	5.92	－	
	A16-002	住宅	一般	山形市	直接	山形市	－	－	まちなみ環境整備事業（ 蔵王温泉地区）	修景施設整備（助成）、整備 方針策定、道路美装化等	山形市	■	■	■	■	■	264	5.92	－	
											合計						346			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	山形市	直接	山形市	—	—	景観重点地区景観まちづくり推進事業（山寺地区）	専門家派遣、パンフレット等作成、ガイドライン冊子作成	山形市	■	■	■	■	■	8	—	
		地元まちづくり団体の活動に対する専門家の助言や、地区独自の景観形成方針や基準を広く周知することで、良好な景観形成が期待できる。																	
	C16-002	住宅	一般	山形市	直接	山形市	—	—	景観重点地区景観まちづくり推進事業（蔵王温泉地区）	専門家派遣、パンフレット等作成、ガイドライン冊子作成	山形市	■	■	■	■	■	7	—	
		地元まちづくり団体の活動に対する専門家の助言や、地区独自の景観形成方針や基準を広く周知することで、良好な景観形成が期待できる。																	
											小計						15		
											合計						15		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
山形市まちなみデザイン課・道路整備課、有識者（まちなみデザインアドバイザー）及び地元景観検討組織	令和８年度
	公表の方法
	山形市のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	建築物、建築設備及び外構等について、蔵王温泉地区においては、温泉街としての歴史や風情を感じられるまちなみ景観形成を、山寺地区においては、歴史的景観や周辺の自然環境と調和した景観形成を推進し、地域特性を踏まえた外観整備を実施した。これにより、地域固有の景観資源を活かした魅力あるまちなみ形成が図られ、観光地としての魅力が向上し、観光客の誘引につながっているものと評価できる。 また、蔵王温泉地区では、道路の消雪化を実施したことにより、路面の圧雪や凍結による車両のスリップ事故の防止が図られるとともに、観光客が安心して徒歩で観光スポットを周遊できる環境が整備された。これにより、冬期間においても安全で利便性の高い歩行空間が確保され、観光客の受け入れ環境の向上につながった。 さらに、道路の美装化により、まちなみ景観の魅力が向上するとともに、快適に散策できる観光空間が形成され、その結果、観光客の回遊性の向上が図られ、観光客入れ込み数の維持・増加に寄与したものと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

蔵王温泉地区については第２期において引き続き事業を継続し、山寺地区については令和８年度から、地域未来交付金（旧：第２世代交付金）へ移行する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	山寺地区の観光客入れ込み数		
	最 終 目標値	882000人/年	新型コロナウイルス感染症や物価上昇等の影響により観光需要が減少したことが、実績値が目標値を下回った主な要因であると考えられる。コロナ禍の収束後は年々増加傾向にあるものの、物価上昇等の影響により旅行者数が長期的に伸び悩んでおり、その結果、実績値が目標値を下回る状況となった。
	最 終 実績値	776500人/年	
2	蔵王温泉地区の観光客入れ込み数		
	最 終 目標値	1344000人/年	同上
	最 終 実績値	963700人/年	